



ひとくみなと 人が暮らす港



シーサイドももち

中央区と早良区にまたがるシーサイドももちは、博多湾を埋め立ててできた新しいまちです。「住むだけではない、人が集まるニュータウン」として、住宅をはじめ、博物館や商業施設、ホテルなど様々な施設が整備されています。リゾート施設「マリゾン」からは、海の中道へ行く船もでています。平成元年(1989年)には「アジア太平洋博覧会」(よかトピア)が開かれ、たくさんの人が訪れました。



アイランドシティ まちづくりエリア

東区のアイランドシティは「みなと」と「まち」が一体となった都市です。「まちづくりエリア」は、海と緑を身近に感じられる「住宅ゾーン」、人々が憩い、回遊し、交流できる「複合・交流ゾーン」、健康・医療・福祉分野の施設などが集まる「新産業・研究開発ゾーン」、水と緑が一体となった「環境ゾーン」に区分けされ、みんなが快適に暮らせるまちづくりを進めています。



また、まちづくりエリアの中央部においては、大型の体育館や商業・宿泊複合施設など、まちの外からも人が集まる空間づくりを進めています。

学ぶまち

福岡の歴史を学べる「福岡市博物館」や、本だけではなく、アジア各国の映画を中心に収集した映像フィルムなども集めた「福岡市総合図書館」など、学べる施設が整備されており、小学校や専門学校などの学校もあります。



福岡市総合図書館



福岡市博物館

緑や水とふれあうまち

「アイランドシティ中央公園」や「アイランドシティはたき公園」、これらをむすぶ「グリーンベルト」など、まちのいたるところで緑にふれあうことができます。海沿いには、散歩やサイクリングなどが楽しめる緑地やあいたか橋(海上遊歩道)をつくり、快適で水辺に親しみやすい空間をつくりだしています。



アイランドシティ中央公園



あいたか橋

楽しむまち



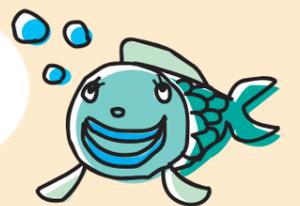
福岡タワー



福岡PayPayドーム

シーサイドももちのシンボル、「福岡タワー」や、野球だけでなく様々なイベントが行われる「福岡PayPayドーム」など、住む人だけでなく、観光客も楽しめる施設がたくさんあります。海浜公園では、砂浜でビーチバレーや水遊びを楽しむこともできます。

海に親しみながら
みんなが楽しく
暮らせるまちだよ



みんなが住みやすいまち



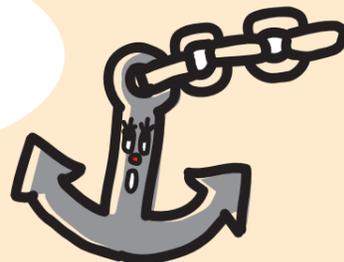
広い歩道と電線の地中化



太陽電池パネルがある住宅

子どもからお年寄りまで、誰もが快適に暮らせるように、歩行者や自転車、自動車の道を分けるなど、安心・安全なまちづくりにも取り組んでいます。また、太陽光のような再生可能エネルギーを取り入れる、省エネ住宅を整備するなど、環境にもやさしい脱炭素型のまちづくりを進めています。

福岡でも人気の
観光エリアに
なっているよ♪





自然がいっぱいの博多湾

自然のことを考えた島の形

アイランドシティは、自然との共生を大切にしています。たくさんの渡り鳥がやってくる和自干潟の埋め立てをやめて島の形にしました。また、干潟の生きものや海水などの調査を行い、悪い影響が出ていないか確認しながら工事を進めています。



エコパークゾーンの環境

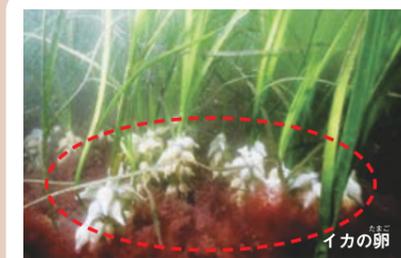
みんなで力を合わせて、環境を良くする活動をしたり、海藻のアマモを植えたり、水と緑に親しめる施設をつくったりして、エコパークゾーンの環境がもっと良くなるように取り組んでいます。



カニなどが石の隙間を移動でき、鳥が休むことができる生きものにやさしい護岸をつくりました。



たくさんの人が潮干狩りを楽しんでいます。



イカなどの産卵場や小さな魚の隠れ家になり、「海のゆりかご」と呼ばれる海藻のアマモを植えて、海の中の生きものすみやすい環境をつくる取り組みを行っています。



海のそばで休んだり、遊んだりできるように遊歩道や砂浜をつくりました。



海に近づきやすくなるように遊歩道と護岸をつくりました。

博多湾の生き物たち

博多湾には砂浜や干潟などの豊かな自然がいっぱい。カニや貝などの生きものたちがすんでいて、魚や鳥などもたくさん集まっています。



牧の鼻から見た和自干潟



雁の巣の砂浜から見た海の中道大橋

博多湾にすむ生きもの



カニ(ハクセンシオマネキ)



魚のこどもたち



海藻(アマモ)



博多湾に飛来する渡り鳥



ミヤコドリ



ツクシガモ



クロツラヘラサギ



ハマシギ

砂浜などで見られる植物



ハマエンドウ



ハマヒルガオ



ウラギク



ハマゴウ

博多湾の自然を守る人たち

アマモ場づくり活動でアマモのポット苗をつくる様子



育てたアマモの苗

アオサのお掃除大作戦



博多湾の環境をよくする活動を行っています

市民、漁師さん、会社、学校、市役所などが連携して、博多湾の環境をよくする活動を行っています。



清掃船で海を掃除しています

特殊な設備をそなえた「かもめ」と「第2かもめ」の2隻の清掃船で、博多湾のゴミを集めています。



海岸をきれいにしています

「ラブアース・クリーンアップ」では、毎年たくさんの人たちが海岸のゴミ拾いを行っています。



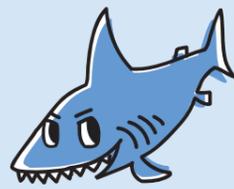
漁師さんもゴミを拾っています

「福岡市漁業協同組合」のよびかけで、漁師さんたちが博多湾のゴミを集めて持ち帰っています。



浜辺に松を植えています

美しい海岸の風景を残すために、「はかた夢松原の会」の人たちが浜辺に松の木を植えています。



博多港に でかけてみよう！

博多ふ頭

海に親しめる楽しい施設がある

志賀島行きの船や壱岐・対馬などへの国内フェリーが発着しています。

ベイサイドプレイスや、高さ100メートルの博多ポートタワー・博多港ベイサイドミュージアム(入場無料)などがあり、憩いの場としても親しまれています。

「博多ぴあトピア」の愛称で親しまれているよ



▲博多ポートタワー



▲ぴあトピア緑地
海を眺める展望台などがあり、コンサートや会議に訪れる人々などでにぎわっています。

博多港
ベイサイド
ミュージアム



ベイサイド
プレイス



その他の地域の施設



西福岡マリナー マリノア

国際的なヨットレースの寄港地にもなっている、マリンスポーツの基地です。隣にはホテルやアウトレットモールなどがあり、手軽に観光リゾート気分を味わえる場所です。



福岡市ヨットハーバー

「小戸ヨットハーバー」の名前で親しまれている、福岡を代表するヨットハーバーです。周辺の小戸公園一帯は、海辺の散歩コースとしても人気です。



能古島

姪浜旅客待合所から、市営渡船を使って10分程度で行ける離島です。コスモスなど、四季折々の花が咲いている自然豊かな公園「このしまアイランドパーク」もあります。



国営 海の中道海浜公園

園内では四季折々の花を楽しむことができ、リスザルやカピバラなど約500頭の動物たちとふれ合える「動物の森」があります。また、光と風の広場には「パーク・ツーリズム」をテーマにした滞在型レクリエーション拠点が新たにオープンしました。



和白干潟

国内有数の渡り鳥の飛来地で、春と秋はシギ・チドリ類、冬はカモなどたくさんの渡り鳥を観察できます。渡り鳥や植物の観察はもちろん、潮干狩りも楽しむことができます。



マリンメッセ福岡 A館・B館

様々なイベントや展示会が開かれています。令和3年にはB館もオープンしました。近くには福岡国際会議場や福岡国際センターなどのMICE施設(たくさんの人が集まり交流する場)が集まっています。

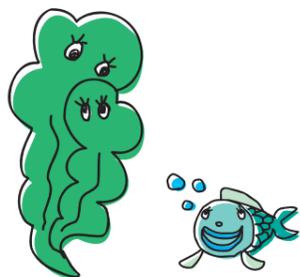
アイランドシティ

アイランドシティ中央公園

広さ約19.4haの緑豊かな公園には、雨水を利用した池を囲むように多目的広場や緑の体験学習施設「ぐりんぐりん」があり、市民の憩いの場となっています。



しゅうけいけ
修景池、デッキ



たいけんがくしゅうせつ
体験学習施設「ぐりんぐりん」



こどもひろば

海辺歩行空間「御島グリーンベイウォーク」

海を囲む1周3kmの周回コースは、砂浜や松林、海に架かる遊歩道、芝生など変化に富み、海に浮かぶ御島神社の鳥居を眺めることができます。海や風を感じながら自然観察やウォーキングなどができ、健康づくりに最適です。



あいたか橋



かしのかいが
香椎海岸

福岡市総合体育館

西日本最大級の面積を誇るメインアリーナのほか、武道場、弓道場、トレーニングルームなどを備えた市民のスポーツを「する」「みる」を支える施設です。また、体育館の外周にはジョギングコースがあり、グリーンベルトの緑地を眺めながら体を動かすことができます。



ふくおか しゅうごうたいいくかん
福岡市総合体育館